＜様式1＞

平成 29年 09月 01日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	地域優良住宅「ふれあいの家」
グループの名称	ふるさと家守りネットワーク北関東
直近採択グループ番号	04-0710-0186

（グループ代表者）

代表者名	浦野　孝好　代表者印
代表者所属先	株式会社浦野建設
代表者所在地	群馬県高崎市我峰町50-2
代表者電話番号	02-7344-1248

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社浦野建設
事務局担当者名	鷲尾　宏　印
事務局郵便番号	370-0085
事務局所在地	群馬県高崎市我峰町50-2
事務局電話番号	02-7344-1248
事務局FAX	02-7344-1239
事務局担当者E-mail	info@urano-kensetsu.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	地域優良住宅「ふれあいの家」
２．グループの名称(必須)	ふるさと家守りネットワーク北関東
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0710-0186
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県の一部
５．結成年(必須)	2016　年
６．グループ代表者名(必須)	浦野　孝好
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社浦野建設
８．グループ代表者所在地(必須)	群馬県高崎市我峰町50-2
９．グループ代表者電話番号(必須)	02-7344-1248
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社浦野建設
１１．グループ事務局担当者名(必須)	鷲尾　宏
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	370-0085
１３．グループ事務局所在地(必須)	群馬県高崎市我峰町50-2
１４．グループ事務局電話番号(必須)	02-7344-1248
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	02-7344-1239
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	info@urano-kensetsu.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	1	海外事業者にあっては念書入手不可能であったため、所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	1	海外事業者にあっては念書入手不可能であったため、所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	1	一部流通グループを介さずに地域材の調達を行う場合がある（海外事業者を含む）
Ⅳ．プレカット	2	
Ⅴ．設計	4	
Ⅵ．施工	5	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	全国		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内
	ぐんま優良木材	群馬県	ぐんま優良木材品質認証	1	国内
	栃木県産出材	栃木県	栃木県産出材証明制度	1	国内
	さいたま県産出木材	埼玉県	さいたま県産木材認証制度	1	国内
	ちばの木	千葉県	ちばの木認証制度	1	国内
	福島県産木材	福島県	県産木材証明制度	1	国内

B．平成２９年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅） **経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		9	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	9	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
		申請が未確定（上限100万円）		8	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	8	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	1	戸
	長寿命型（長期優良住宅） **未経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		3	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	1	戸
	高度省エネ型 （認定低炭素住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **経験**工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	申請が確実（上限150万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限150万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **未経験**工務店（4戸（8戸）未満）による申請戸数	申請が確実（上限165万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
		申請が未確定（上限165万円）		8	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	1	戸

C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0	棟
			0	㎡
		申請が未確定	0	棟
			0	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	?均等配分で申請確定戸を優先配分する。

E. 平成２８年度の執行状況（必須）

長寿命型（長期優良住宅）

当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
補正予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（認定低炭素住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）

当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

優良建築物型

当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
当初予算	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
海外事業者にあっては念書入手不可能であったため、所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
11	Ⅰ － 1	木村木材工業株式会社		365-0038	埼玉県鴻巣市本町3丁目8番37号	048-542-8111
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
海外事業者にあっては念書入手不可能であったため、所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
11	Ⅱ － 1	木村木材工業株式会社		365-0038	埼玉県鴻巣市本町3丁目8番37号	048-542-8111
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
一部流通グループを介さずに地域材の調達を行う場合がある（海外事業者を含む）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
13	Ⅲ － 4	株式会社篠原商店		177-0042	東京都練馬区下石神井5-13-2	03-3995-7288
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
11	Ⅳ － 1	木村木材工業株式会社		365-0038	埼玉県鴻巣市本町3丁目8番37号	048-542-8111
13	Ⅳ － 4	株式会社篠原商店		177-0042	東京都練馬区下石神井5-13-2	03-3995-7288
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
10	Ｖ － 6	株式会社浦野建設設計事務所		370-0085	群馬県高崎市我峰町50-2	027-344-1248	○	
10	Ｖ － 7	島?設計事務所		370-0073	群馬県高崎市緑町2-10-2セイラBOX308号室	027-361-9017	○	
10	Ｖ － 8	鶴見建築設計事務所		370-0857	群馬県高崎市上佐野町1026-5	027-324-9298	○	
10	Ｖ － 9	ぐん・せい建商株式会社		370-3504	群馬県北群馬郡榛東村広馬場２２０７－１	0279-54-5685	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							5	○	○
10	Ⅵ － 9	41343	ぐん・せい建商株式会社		370-3504	群馬県北群馬郡榛東村広馬場2207－1	0279-54-5685		○
9	Ⅵ － 11	61320	塚本産業株式会社		321-4305	栃木県真岡市荒町57－18	02-8582-3301	○	
9	Ⅵ － 12	61347	松盛堂株式会社		323-0807	栃木県小山市城東7－1－5	02-8523-7688	○	
10	Ⅵ － 13		パステルホーム有限会社		370-3523	群馬県高崎市福島町802-4	027-360-6068	○	
10	Ⅵ － 14	41231	株式会社浦野建設		370-0085	群馬県高崎市我峰町50－2	02-7344-1248	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

<様式 2-2・Ⅵ-2>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	○	○			
10	Ⅵ － 9	41343	ぐん・せい建商株式会社	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
9	Ⅵ － 11	61320	塚本産業株式会社	25 戸	24 戸	7 戸	6 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	○		○	○	
9	Ⅵ － 12	61347	松盛堂株式会社	20 戸	20 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○		
10	Ⅵ － 13		パステルホーム有限会社	19 戸	19 戸	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○		○	
10	Ⅵ － 14	41231	株式会社浦野建設	17 戸	17 戸	11 戸	12 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○		○	
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 地域優良住宅「ふれあいの家」	（地域型住宅供給対象地域） 群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県の一部
２．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） ふるさと家守りネットワーク北関東	（結成年） 2016　年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0710-0186	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	夏は猛暑日が続き、冬は雪が少ないものの冷たく強い風が吹くことから、高気密・高断熱を重視した住宅を施工します。 また、東日本大震災の被災地域が含まれるので耐震性能についても重視します。 ※断熱等性能等級4、耐震等級2をクリア ※耐風等級2相当の耐力壁の壁量を確保	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	山間の景観と調和のとれた色彩の外観とします。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	本グループの風土に根差したデザインルールとして下記のうち1項目以上を達成する事を義務付けます。 ○北窓に滑り出し窓を採用する(強風対策) ○玄関に土間空間を設ける ○すだれ・よしず・ひさし等の設置による日射遮蔽の推進 ○軒の出700以上の確保	◎
④ ①～③の背景	夏はフェーン現象よって発せられた熱風の影響で猛暑日に達することがよくあり 冬は乾燥した晴れの日が多く雪は少ないが、冷たく強い風（空っ風）が吹く。 農村部が多いため、作業のための土間を作る家が多く、そこが近所とのコミュニティ形成の場にもなっている。 また、本グループには東日本大震災の被災エリアも含まれることから地震対策は必須である。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】				◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない ■ 行っている→	内容: 在来軸組工法の尺寸法とし、一般流通資材を使用する	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている→	内容: 共同仕入によりコストダウンを行う	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている→	内容: 経験工務店が中心となり、ゼロエネルギー住宅のモデルプランと標準仕様書の作成を行う事で未経験工務店でもゼロエネルギー住宅に取り組めるようにする。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない ■ 行っている→	内容: グループ内で資材の単価情報を持ち寄ってコストダウンに関する情報交換を行う。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている→	内容: 構成員ごとに専任の担当者を配置する。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない □ 行っている→	内容:	
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	■ ない □ ある →	内容:	
b.	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある →	内容: 本グループは高気密・高断熱を重視することから、「住宅省エネルギー技術講習会」の修了者が住宅の設計・施工に関わる事とする。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある →	内容: 瑕疵保険の検査を実施する。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある →	内容: グループで共通の見積・積算ソフトの選定を行い使用する事で適正な価格で地域型住宅の供給が行える体制を整える。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある →	内容: 本グループの取り組みを各構成員がホームページ、チラシ等に掲載する事でお客様に対してグリーン化事業の普及を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		代表企業は省エネルギー基準、住宅版BELSの認定取得に関するセミナーなど外部セミナーへの参加を各施工構成員に呼びかける。		○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）地域優良住宅「ふれあいの家」	（地域型住宅供給対象地域）群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県の一部
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）ふるさと家守りネットワーク北関東	（結成年）2016　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0710-0186	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積				
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：各施工構成員は施工に関する図面、認定申請書類等をPDF等にデータ化して管理する。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅に限り、住宅履歴情報を第三者サービス機関に登録する。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：物件ごとの図面、認定申請書類等、住宅履歴情報を第三者サービス機関に登録した事を確認できる書類の控えをグループ事務局	◎
	② メンテナンス基準の整備				
	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：メンテナンスガイド、点検項目チェックリストをグループで作成のうえ、グループ共通の項目で点検を行う。	○
	②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：上記、グループ共通書類の内容に基づき補修を行う。	○
	②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：点検・補修の時期をグループ内で設定し、グループ事務局呼びかけのもと一斉に行う。	○
	③ 住まいの管理				
	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：グループ内で勉強会企画を立案のうえ、各施工構成員が運営・実施する。	○
	③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：グループ内で勉強会企画を立案のうえ、各施工構成員が運営・実施する。	○
	③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：各構成員が意見を持ち寄ってグループで必要な相談会の内容を検討のうえ実施する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：住まいの管理勉強会、DIY勉強会等の開催内容についてグループ事務局を中心とした委員会を設置する。	○
	⑤ その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：万が一構成員が倒産・廃業となる場合には、まずグループ事務局への報告を義務付ける。施工に関わった職人の名簿を作成、管理する。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：各構成員が外部セミナーに参加し、参加内容をグループで共有する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

エ．グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：採択後にグループ内で勉強会を行う。経験工務店が中心となり、マニュアル・資料等を使いながら技術内容の説明を行う。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：品質管理のためのガイドラインをグループで作成する。各工程ごとの重要ポイントの施工写真を撮影し、品質が保たれているかを確認する。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：施工写真のデータをグループ事務局に提出する。	○
	③-1 需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：品質管理のルールブックをグループ事務局で作成する。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：2030年のゼロエネルギー住宅標準化に向けて、2020年までにグループで供給する住宅の半数をゼロエネルギー住宅にする。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：省エネ設備の共同仕入れを行いコストダウンを図る。未経験工務店には経験工務店が積極的にノウハウ提供を行う。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　3		今年度の参加目標人数　2	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　0		今年度の参加目標人数　2	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：施工構成員ごとの受講状況をグループ事務局で管理する。未受講の施工構成員がいないよう呼びかけを行う。	◎
c	① 新たな技術等の導入	■ ない	□ ある →	内容：	
	② 新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）地域優良住宅「ふれあいの家」	（地域型住宅供給対象地域）群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県の一部	
2．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）ふるさと家守りネットワーク北関東	（結成年）2016 年	
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0710-0186		

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材の20%以上にグループが指定した地域材を使用する。 ※県産認証された地域材の他、供給不足等が見込まれる場合には合法木材を使用する事も可能とする。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	■ 50%未満　□ 50%以上　□ 80%以上	○
	③ 標準的な地域材の使用部位 (必須)	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：グループ事務局と各プレカット業者が連携を取って在庫状況を常に管理する。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：品質管理のルールブックをグループ事務局で作成する。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（1畳換算）120枚	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数：300坪	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）20枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）40枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：漆喰を用いた内装の提案	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：玄関に土間空間の提案を行う。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：各施工構成員が中心となり、お引渡し後のお客様との交流会を1年に一度行う	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：植栽などの外構提案を行う	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：真壁納まりの内装を提案	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ. その他

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	当グループには被災地域が含まれている為、被災地域の地域材を活用することで復興に資する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 地域優良住宅「ふれあいの家」	（地域型住宅供給対象地域） 群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県の一部
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称） ふるさと家守りネットワーク北関東	（結成年） 2016 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0710-0186	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

本グループの地域型住宅は、エネルギー負荷低減を考えた断熱性能に重点を置いた住宅としています。
「高度省エネ型」については、更に、断熱性能を強化し、消費エネルギー量の少ない住宅をベースにゼロエネルギー住宅を企画しています。

また、ランクアップ外皮について高性能な窓及び断熱材を採用し、付加断熱なくランクアップ外皮の数値を超えた数値になることを確認でき、実績をつくることで、
ノウハウと住まい手の声をグループ全体へつなげていくこととする。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。